

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係
 〒2-1111
 発行日 毎月1日・15日
 印刷所 成文社印刷所

《町民憲章》
 郷土を愛し 力をあわせ
 楽しい町をつくります

すたかのす

No. 303 · 50 · 1 · 1



新年のごあいさつ

町長 出川 礼一

謹しんで、新年のごあいさつを申しあげます。
 昨年豪雪等、異様な天候が続き、加えて不況のなかの物価高、政情の不安定等、住民の暮らしが大きくおびやかされた年でしたが、町政は町民みなさまをはじめ、関係機関や団体等のご指導ご協力によりまして、順調な進展をみましました。

特に、昨秋行なわれた第九十七回種苗交換会は、当町はじまって以来の盛況を呈しました。また、懸案の圏民会館、鷹巣小学校の体育館などの教育施設も完成し広く活用が行なわれ、住宅団地造成工事もそのスタートをきりました。

しかし、米代川流域水田一帯におよぶ重金属汚染はますますその範囲が拡大され、抜本的対策のないまま推移し、また畜産振興対策をはじめ、需要の減退と金融引き締めによる地場産業の木材関係企業、誘置企業の縫製や弱電関係企業は大打撃を受け、操短の非常手段にでている状況にあり、まことに憂慮されます。

さて、新しい年を迎えるにあたり、いよいよ地方自治の重要性を深く認識し、行政の全機能をかたむけて、不況下における地域産業の擁護を図らなければならぬと考えております。また、きめ細かな福祉向上を求めて、恵まれない方々への援護、道路の舗装改良範囲の拡大、施設の活用と広く人材の登用を求め、教育尊重の宣言、公害の防止と自然環境の保全、スポーツを広く普及し、健康づくり推進などを進めてまいりたいと考えております。

本年も皆さまのご理解あるご参加により、住みよい豊かな郷土の建設を進めたいと存じますので、特段のご指導をお願い申し上げます。

最後に、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
 昭和五十年 元旦

智



正

12月定例町議会

22億9千6百63万円に

＝町民球場用地などを購入＝

第六回定例町議会は、十二月十七日から二十四日までの八日間の会期で開かれ、予算案、条例案、条例案、同意案、四十八年度決算、陳情請願などを可決して閉会しました。

議会は、十七日が町長の行政報告と提出議案に対する大綱質疑が行なわれたあと、各委員会に付託。十九日、二十日は一般質問、二十一日から二十三日まで付託案件に対する各常任委員会が開かれ、二十四日の本会議で決定した議案は次のとおりです。（関連記事二〇八面に）

一般会計

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億九千六百一十二千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は二億九千六百六十三千円となりました。

（歳入）

歳入の主なもの、▽地方交付税が一億五千九百五十七万四千円、▽全体の八十一%、以下▽県支出金一千五百七十六万六千円、▽国庫支出金九百四十万九千円、▽分担金及び負担金三百五十七万一千円、▽町税三百三十三万五千円

（歳出）

歳出では、▽人事院勧告による職員の給与および諸手当増額分（消防含む）が一億五千四百十三万一千円で全体の八十%。

以下、▽児童措置費一千四百五十一万六千円、▽広域負担金一千四十万円、▽老人福祉医療八百八十五万三千円、▽農村災害復旧三百八十万円となっております。

決定した特別会計

▽国民健康保険特別会計
一千三百二十一万七千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は三億七千八百八十一千円となりました。

歳入は、繰越金九百三十五万三千円と国庫支出金の三百八十六万四千円。

（歳入）

歳出の主なもの、高額療養費七百七十二万九千円、人事院勧告分四百五十六万九千円。

▽綴子簡易水道会計

二百八十三万一千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は一千二百二十一万九千円となりました。

▽綴子財産区会計

三百三十一万七千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は一千九百五十四万五千円となりました。

▽坊沢財産区会計

十五万円を追加、歳入歳出それぞれの総額は二千四百九十二千円となりました。

▽宅地開発会計
歳入歳出予算の総額から、十三万円を減額し、歳入歳出

それぞれの総額は七千三百九十二万三千円となりました。

歳入の減額は宅地売却収入、歳出は工事費二千四百二十万五千円の減額、土地購入代七百六十六万四千円と測量設計委託料二十五万円の追加。

▽水道事業会計
収入に一百五十四万四千円を追加、合計五千三百九十六万四千円に、支出は五十一万七千七百七千円、差引き三千二百九十一万三千円が当年度欠損額。

▽昭和三十九年度各種会計歳入歳出決算認定について

一般会計ほか国保会計など十一会計が認定となりました。（くわしくは六、七面に）

専決処分の承認

▽土地取得について
町民球場用地として、脇神字米の岱（原野）六千六百九十九平方メートルを一千一百七十五万一千円で、秋田県町村土地開発公社から取得。

▽一般会計補正予算

町民球場用地として、秋田県町村土地開発公社から取得

決定した同意案件

▽東鷹巣阿仁広域市町村圏組合の規約変更についての協議
監査委員の任期を三年から四年に変更するもの。

教育委員に

三沢氏を再任
任期満了にともなう教育委員に、東鷹巣三沢宏氏（49）の再任が同意されました。



決定した議案

▽国有財産の譲与申請について
農林省所有の元軌道敷地の譲与をうけ、町道に認定、利用価値をたかめるための譲与申請。

▽辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

辺地と他地域との間における住民の生活、文化水準の格差を是正する目的で、国では公共施設の整備に対して財政上の特別措置をおこなっているが、今回、この計画内容の事業量、事業費等に変更を生

町長日誌

12月1日～12月15日

- 1日 鷹巣・阿仁部婦人家庭バレーボール大会
- 2～6日 上京
- 全国治水砂防事業促進大会
- 住宅政策推進全国大会
- 鉄道新線建設促進協議会全国臨時大会
- 全国町村長大会
- 全国山村振興連盟臨時総会
- 日通アロパン新工場竣工式
- 8日 町職員資格試験（面接）
- 9日 民生委員辞令伝達式
- 商工青年部クリスマスパーティー
- 10日 寺田服装学院名士訪問
- 町PTA協議会
- 11日 町内道路視察
- 鷹巣材親会山神祭
- 公民館定期講座交流会
- 12日 公害対策審議会
- 秋田さきがけ政経懇話会
- 13日 鷹巣ロータリークラブ出席
- 農協婦人部収穫感謝祭
- 15日 郡婦人連合ブロック会議

じたため、議会の承認を得た
ものです。

▽町道の認定について
鷹巣・太田線(あけぼの町
線)延長九百九十、幅員五
を町道と認定。

▽団体営農整備事業の施行に
ついて
摩当/向黒沢線、延長三千
百八十五、幅員五、五を
昭和五十年から五十二年
までの三カ年にわたり、団
営農道整備事業として施行。

▽工事請負変更契約の締結に
ついて
去る九月二十日、議会の議
決を得て契約を締結した宅
地造成工事費四千八百万円に
九百八十七万九千円を増額、
五千七百八十七万九千円に
変更して契約を締結。

▽土地を交換することについ
て
大堤地内に造成中の町営宅
地造成用地の内、第一工区隣
接地と第二工区用地を交換し、
一団地とするための土地の交
換。

▽一般職の職員との給与に関
する条例の一部を改正する条
例制定について
人事院勧告にもなう給与
の改定を内容とするもので、
一般職の給与表および扶養手
当、住宅手当、通勤手当等が
四月にさかのぼり引き上げら
れることになりました。

▽企業職員の給与の種類及び
基準に関する条例の一部を
改正する条例制定について

人事院勧告にもなう給与
の改定。

▽議会の議員、その他非常勤
の職員の公務災害補償等に
関する条例の一部を改正す
る条例制定について

▽森吉町外四カ町村病院組合
規約の一部を変更する規約
について

▽鷹巣・阿仁広域市町村圏組
合規約の一部を変更する規
約について

▽公立合川高等学校組合の規
約変更に関する協議につい
て

▽人権擁護委員の推薦
綴子田中 九島悦郎

採択となった請願
▽学校給食に関する陳情書(一
請願者)秋田県学校給食推
進振興会長ほか四名)

▽町道編入並びに側溝改良と
舗装についての陳情書(請
願者)坊沢羽立町内)

継続審議となった請願
▽養護施設陽清学園全面改築
(移転)についての陳情
(一般廃棄物(し尿)収集料
金の改正についての陳情
▽社会福祉対象者に対する人
浴券発行等の実施に関する
陳情

▽町道編入並びに側溝改良に
関する陳情

国民年金

年金未加入者は
いますぐ加入を

県では、今年度を国民年金
の「適用の年」とし、国民年
金に未加入の人々をなくするこ
とに力を入れていますが、町
でもこれにあわせて、町民皆
年金(二十歳以上の町民すべ
てがなにかの年金に加入する
年)を目標に、国民年金に
加入もれとなっていない人の一
掃に努めています。
国民年金制度は、農林業に
従事している人や、自営業の
人などを対象とした制度です
が、これらの人々は義務加入
となっており、国民年金に
必ず加入しなければなら
ないことになっています。
義務加入の人で、未加入と
なっている人も今ならば法
律の特例措置によって、時効
となった古い掛け金も納める
ことができます。
これからの社会は、老後は
年金で暮らすようになるのは
明らかです。「年金をもらう
権利」を失うことのないよう
今すぐ加入の手続きをとりま
しょう。
くわしくは、役場の年金係え

社会福祉の増進に期待

＝新民生委員に64名＝

- 任期満了に
ともなう、新
しい民生委員
六十四名が十
二月一日付け
で、厚生大臣
から任命され、
九日午前十時
から役場で辞
令の伝達式が
行なわれまし
た。
新しい民生
委員は男四十
三名、女二十
三名で、任期
は三年となっ
ています。
新任の民生委員と担当地区
は次のとおりです。
(一)内は、担当地域。
(鷹巣地区)
沢田修一(末広町 新松葉
町) 花田三郎(駅前 材木
町) 草野リヤウ(松葉町
福住町) 佐藤留治(北新町
太平町) 奈良幸恵(栄町)
五代儀不二男(西仲通) 九
島令(花園町 米代町) 関
子ヨ(東旭町) 亀山米蔵(旭
町) 佐藤弘(三吉町 桜
木町) 神成ツヤ子(西旭町
佐藤良市(東住吉町 西住吉
町) 成田郁子(東横町 西
横町) 相馬アヤコ(舟見町
成田鶴子(学校通り) 河田
サヨ(仲町) 高橋トシ(新
旭町) 長谷川政子(南鷹巣
柏木四良(南鷹巣) 麻木安
和(大町) 元新町) 三沢一
(東仲通り あけぼの町)
永井永治(伊勢町 森館町)
(綴子地区)
秩父威仙(上町) 藤島儀
市郎(下町) 佐藤文男(小
田 田子ケ沢 松原) 佐藤
重蔵(岩谷) 二本杉) 小笠
原政三(大畑) 島山藤一郎
(向黒沢) 渡辺妙子(糠沢
旭ヶ丘) 佐藤正(昭和 大
堤) 三沢桂(田中) 大川
孝造(新田中 南田中) 村
上定吉(掛泥古閑) 村上ヒ
口(掛泥) 村上孝四郎(高
野尻 団地)
(坊沢地区)
津谷清助(深閑) 佐藤七
三郎(相善町) 津谷フミ(羽立)
能登谷キヌ(上町)
大町) 佐藤貞夫(新屋敷町
街道町) 桜庭角蔵(蟹沢)
長崎久幸(緑ヶ丘)
(七座地区)
大川静江(黒沢) 野呂重
光(前山) 藤内子ヨ(今泉
(栄地区)
松尾政雄(太田) 岩谷佐
一郎(摩当) 加賀喜蔵(田
沢 李岱) 田村栄(下大沢
岩坂)
(沢口地区)
佐藤貞男(湯ノ岱 坊山
四渡) 島山トヨ(小森 中
屋敷) 本間三義(脇神 上

議会日誌

- 12月1日/12月15日
2日 議会運営委員会
教育民生常任委員会
町営墓地予定地視察
3日 土木常任委員会
工事現場視察
4日 カドミウム鉍害調査
特別委員会
5日 県北交通安全協会総
会/議長出席
6日 商工会青年部と産業
経済常任委員会懇談
会
12日 カドミウム鉍害調査
特別委員会
13日 議会運営委員会
野 加賀松五郎(藤株 高
森岱 高村岱) 小塚君子(堂ヶ岱 米の岱) 中島末治(舟場) 中島多市郎(川口 小ヶ田 湯車)
(七日市地区)
佐藤忠治(七日市 根木屋敷) 長岐哲弥(妹尾館 中畑 大畑) 堀部ナカ(葛黒 島山憲(与助岱) 三ノ渡 黒山) 轟山勉(松沢 明利) 相馬鉄郎(上舟木) 佐藤健一(下舟木 吉ヶ沢 深沢 品類) 九島静江(岩脇 横 瀨 吉野)

健康保険税
の
町民納税
第四期納期限は:
一月三十一日まで

12月定例議会

出川町長行政報告

出川町長が、十二月定例町議会において発表した行政報告は、次のとおりです。

○十二月定例議会開催にあたり、主だった行政経過と現在進捗中の施策についてご報告いたします

稲作状況並びに政府売渡について

本年の稲作は、苗代期における天候の変動により、植付に多少の遅れを見ましたが、植付後の活着期・分けつ期は天候に恵まれ順調な成育を遂げたのですが、七月下旬以降著しい低温にみまわれ、出穂は平年に比し五日ぐらいの遅れをみました。

しかし、登熟期には再び高温多照の好天が続き、作況指数は百五と平年作を上回る作柄になりました。本年産米の買入限度数量は一万一千七十八、二八トで、十一月末日現在の売渡実績一万一千五十四、三トで、限度数量に対し四十九、七％にあたり、上位等級米の多いのが本年の特徴であります。作況の状況から反面余り米が生じ、検査済三百九十五、四トあり、今後も三百三十八

ト位が予想され、これの処理については農協とともに努力しています。

土壌汚染と汚染米対策

昨年土壌汚染米の出た本町では、今春以来その調査区域を拡大細密調査を行なうこととし、県の指導、農協、農家の協力を得て、九月二十日より九月二十四日まで対象面積七百四十六haより三百三十三検体を抽出し、分析の結果、汚染

明利又に母親牧場

最近飼料の高騰により、畜産経営は困難な状況にありまして、昭和四十八年、四十九年の二カ年継続事業であった肉用牛生産団地育成事業は、本年度で繁殖畜舎八棟、肥育畜舎一棟が、附帯施設も含め十月二十三日竣工をみ、牛の導入も終了現在飼育中であり

ます。次に、稲わら焼却による煙害防止と、稲わらの効率的利用をはかるため田園畜舎の設置をすすめたと、簡易組立畜舎二棟、共同簡易畜舎八棟が設置されました。また、母親牧場も明利又地区に繁殖畜舎一棟、肥育畜舎一棟それぞれ完成し、繁殖牛四十頭、肥育四十頭を導入し、現在飼養管理中であります。

米(カドミウム〇、一PPM以上)二、準汚染米(カドミウム〇、〇四以上〇、一PPM)二十五検体から検出され、その関連面積汚染地域四、一九ha、準汚染地域五十六、八五haが対象となりました。汚染米地区の対象となった大向、太田地区から出荷された産米は、現在三百五十八俵で下見検査を受けて関係農協倉庫に保管されており

ます。なお、昨年土壌汚染の対象となつた今泉地区については、「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に基づく汚染地域指定となり、今後土地改良事業が行なわれることとなりますが、これと並行して米代川改修工事の一環としてこの地域の築堤工事も計画されており関係者と話し合いを進めております。

道開ノ沢線ほか三路線延長三千九百九十三は、四業者に工事費五百九十二万円で発注施行中であり、県単地道陣場俗線も延長三百、工事費八十五万円で発注施行中であり

種苗交換会好評に終わる

第九十七回秋田県種苗交換会は、十一月七日から十三日まで一週間、体育館を主会場にして開催されましたが、期間中は比較的好天に恵まれ、参観者も五十四万五千人と公表され、交換会史上最高を記録するなどかつてない盛り上がりを見せ、好評のうちに終わりました。

商工業者対策

活用資金の

国の総需要抑制、金融の引締め、その他経済界の影響から、産業界は成長型から安定型に移行しつつあり、そのため業界も人員整理、操短等の現象を引起し、本町の基幹産業たる製材業界も十月から四割自主操短に入り、又誘致企業たる縫製業、弱電工場等も計画生産より操短に入る現象を呈しております。

今後予想される需要抑制、消費節約の強化から更に不況

が前進するものと思われ、この対策としては、県の不況特別融資及び制度資金の高度活用化を指導しながら、これに取り組み不況を乗り切るよう努力して参りたいと考えております。

出かせぎについて

出かせぎ者の就労先は、製造業及び建設業も経済の不況から操短、或は不振に見舞われ、更に年令制限も加わり、雇用条件も楽観を許さない状況下にあります。

以上の状況から予想される賃金不払、解雇、また事故防止等の見地から正規のルート就職をすすめるとともに互助会加入を促進して参りたい。

道路、橋梁の改良及び舗装について

既設の道路維持については、常に意を用いて参りましたが、特に補修を要する松葉町線外六路線延長、千九百四の表面舗装と堂ヶ岱線の穴埋め等は完了しました。

新規舗装として、仲通り線外五路線(延長一千三百九、五) 太平町線外七路線(延長七千七百八) 又都市計画街路事業花園町線の歩道舗装(延長三百三十八) 、中学校通り線(延長三百四十一) を発注し、内七日市一松

除いては、工事を完了しました。

災害復旧

工事について

公共土木災害事業の四十七年災、三九郎橋、秋田渡橋東又一号橋の三橋を永久橋に架替工事は発注中で、五十年三月完成の予定である。

河川災害復旧工事は、焼飯戸外九ヶ所、道路災害復旧工事は宮本一ヶ所についても発注中で、これの完成により、四十七年、四十八年災害復旧工事は完了することとなります。農業施設災害復旧工事については、四十七年災、四十八年災、四十九年災を含め、奥小ヶ田頭首工外二十五ヶ所を十月二十五日に十七業者に発注工事中であります。

除雪対策に万全

除雪機械整備のため、新たにスノーローダー一台を購入し、既設のスノーローダー二台、クレーダー一台、ダンプ二台をもつて直営除雪を行ないますが、昨年の豪雪に堪えがみ道路交通、特に車輛通行の確保をはかるため、地域毎

に十一業者とあらかじめ契約を結び、いつでも出勤できる態勢を整え、除雪の万全を期しています。

駅前 自転車置場を新設

鷹巣駅前前自転車置場設置方については、通勤通学者から強い要望があり、国鉄当局に交渉の結果用地の借用ができ、三棟延面積七十三、七十一平方メートルで約百三十台収容の自転車置場を十一月五日完成設置しました。

町営住宅36戸完成

四十九年度計画による三十六戸の町営住宅は、付帯工事も含め十月三十日に完成、十一月二十一日全戸に入居をおりました。

秋田・鹿角短絡路線

比内・小森線で意見一致

秋田鹿角を結ぶ短絡路線の建設を促進すべく、関係市町村をもつて秋田鹿角短絡路線建設期成同盟会を組織し、関係当局の意見を聞きながら、審査等を行ない調査中でありましたが、別記のとおり意見の一致を見、このことについて今後、県に対し強力に運動を展開することになりました。

た。

▽主要地方道比内・宮川線から主要地方道比内、小森線、国道一〇五号線を通り次いで国道二八五号線から国道七号線に出て秋田へ結ぶ路線

国道一〇五号新バイパスの促進について

このことについては「新鷹巣橋建設促進期成同盟会」を結成し、その実現方を要望してきたところであるが、この度一〇五号線は郡境の開通をみたので、今後は新鷹巣橋の架橋に併せ、鷹巣バイパスの新設に関係町村と協力し、強力な運動を継続していくことになっております。

健康調査

太田でも行なう

九月の行政報告の中で今泉地区、並びに明利又、葛黒地区住民の三十歳以上の人を対象としての健康調査を実施した結果、今泉地区対象者三百六十五人、内受診者百五十五人、その中から第二次精密検査を要する者三人おります。明利又地区対象者百三十三人、内受診者五十五人、全員異状ありませんでした。葛黒地区対象者百二十六人、内受診者六十一人、第二次調査該当者十八人おりましたが、精密検査を要する者ではございませんでしたが、九月報告の坊

沢、前山地区からの六人と前記今泉地区の三名については、秋田大学医学部に名を第二精密調査中でありま。

また、四十九年度産米の中から汚染米、並びに準汚染米の検出のあった太田地区の関係者三十歳以上百四十一人について、十二月十七日に調査することになっております。

他地区についても、住民の健康管理のため、今後健康調査あるいは定期検診、食生活指導などを積極的にすすめてまいりたいと思っております。

教育施設について

五月下旬から工事中の鷹巣小学校屋内体育館改築工事は、予定どおり完成し、去る十月二十四日創立百周年記念をかね落成式を行いました。また、竜森小学校給食施設も

国民健康保険

福祉制度で出費も上昇

国保事業の基幹である医療費は、一般化した老人医療、乳児医療、高額医療制度等、一連の福祉医療制度の波及効果により、上半期で前年同期に比し百三十九、九%となり、予算消化率も五十二%となっております。

さらに、十月一日からの医療費改訂（十六%引上げ）により、相当額の上昇が見込まれ、それに伴う国庫補助はあ

年内に一切の設備を完了し、三学期より給食を見込んでおりますが、若干おくれることも考えられます。

来年度新入学児童 三百七十六名

五十年度小学校の新入学児童の身体検査は、このほど終了しましたが、各学校の入学児童の状況は、鷹巣小学校が百四十七名で今年度より八名増、東小が五十名で二十二名増、綴子小が五十一名で二名の減、岩谷分校は入学児童なしで二名減、西小は三十三名で十九名の減、中央小は五十九名で六名増、南小は三十一名で一名増、竜森小は八名で三名増、総計で三百七十六名、今年度より十八名多くなっております。

宅地造成事業

来春早々に分譲

宅地造成工事については、八月二日から雑木刈払より始まり、抜根その投棄、用地内ごみの投棄等の準備工事を終え、九月二十一日四十八万坪にてようやく主体工事に入ったのであります。

ところが工事着手後、ご存じのとおり雨につぐ雨のため、造成用地内は乾く期間が少なく、整地のためのブルドーザー等の機械による作業が困難をきわめ、このため遅々として工事が進展せず早期完成、早期分譲の予定も大きくずれ、甚だ遺憾ながら現在までの進捗率は五十五%の状況であります。

共同墓地造成

永眠の地として使用する墓地を、緑の多い明るい感じの適地がないか検討を重ねて、今春から各地を視察したり、また先般町議会教育民生常任委員による現地調査するなど、一応の見通しをつけ早期実現

に努めております。

水道事業について

水道加入状況は、本年度にはいつてから十一月末日までに百九十六件の工事申込みを受けており、加入者数二千二百七十七件となりました。また

給水状況は、四月以降十一月末までに百八十四件の申込みを受け、給水件数は千五百七十件になりました。三千戸の目標に対し、加入率は七十三、九%、給水率は五十二、三%という状態であります。

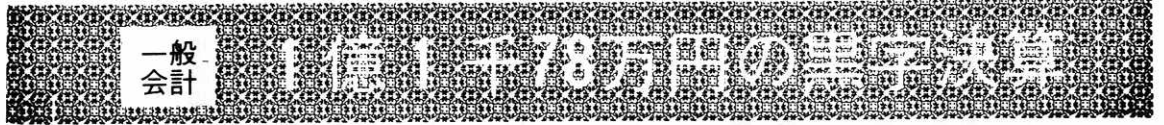
者間と最終的な合意となり、契約するための準備をすすめることになりました。

一団地化することにより工事施工上の利益もさることながら、今後、部路形成上からも大きな利益がありますので、この上は一日も早く設計その他の諸準備を整え、変更契約を締結するため、議会の議決を得たいと考えております。

なお、今後の工事工程としては、十二月末までに八十%、五十年三月末までに八十%とみこんでおり、消雪後でないとしてもできない工事約二十%は、四月末日までに完成と推定されるので、これについてより早急に仔細に検討の上、しかも早く予算上の措置を講じたいと考えております。

分譲については、全工事完成前であっても、区画図面等により分譲でき得るようになれば、できるだけ早く分譲を行ないたいと考えております。

昭和48年度決算報告



＝町の台所は健全です＝

昭和四十八年度一般会計および特別会計の決算が十二月定例会で認定されましたので、そのあらましを報告します。

十二月定例会で認定された町の会計は、一般会計、国保会計、宅地開発事業特別会計、各財産区会計など十二会計で、一般会計の一億二千七十八万円の黒字をはじめ、各会計とも黒字で決算、町の台所は、健全財政を堅持しております。

一般会計の概況

一般会計の決算額は、歳入が十七億八千七百九十八万四千二百六十三円、歳出十六億七千七百二十万三千三百六十六円、差引残額が一億一千七百八十九万七千七百七十九円となり、四十九年度に繰り越しました。

（歳入）

歳入は、地方交付税（国からの交付金）の六億六千三百三十五万七千円をトップに、以下、町税三億三千八百八十二万六千円、国庫支出金（国からの補助金）二億四百八十八万五千円、県支出金一億五千九百六十六万四千円、町債（国から長期低利の借入金）一億五千二百五十万円などが、歳入に示める割合の多いものです。

（歳出）

歳出では、教育費が三億七千五百五十一万六千円、全体の二十二・四％でトップ、以下、土木費の二億五千八百

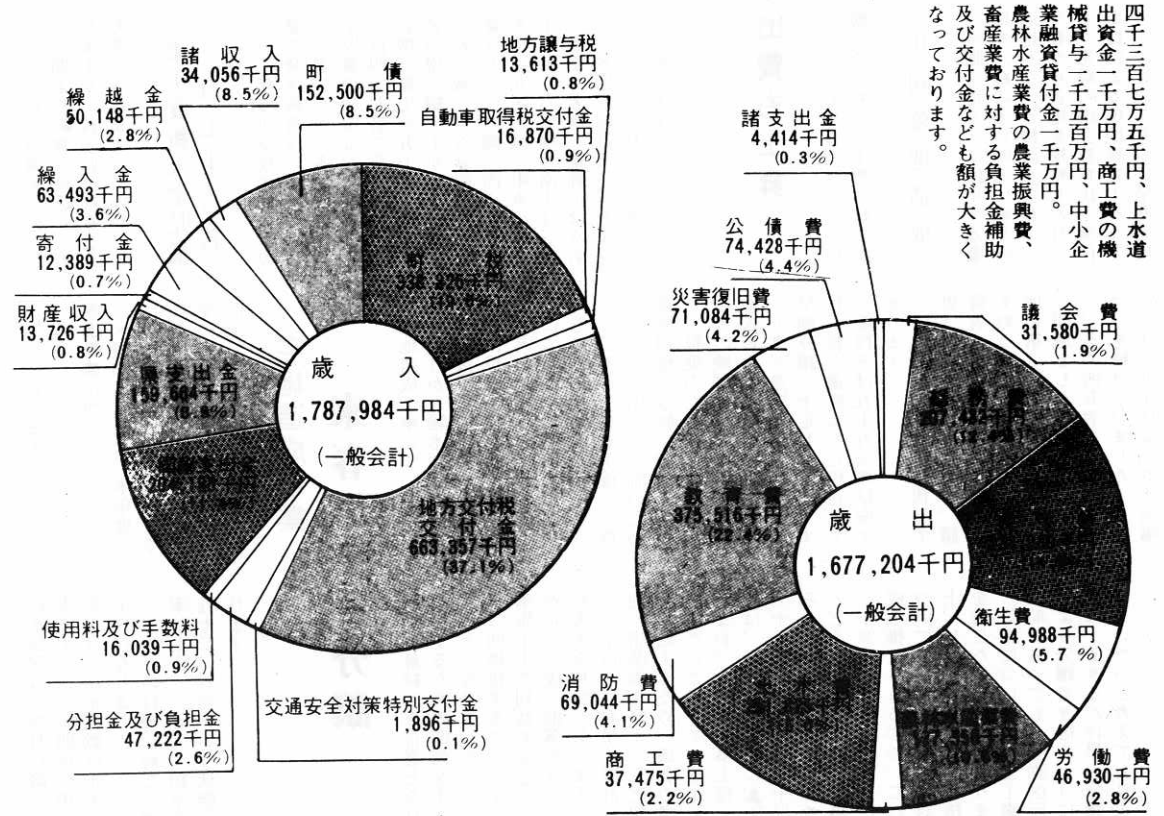
十二万五千円、民生費二億二千四百九十三万三千円、総務費二億七百四十三万二千円、農林水産業費の一億七千七百五十五万八千円などが、歳出に示める割合が十％台となっております。

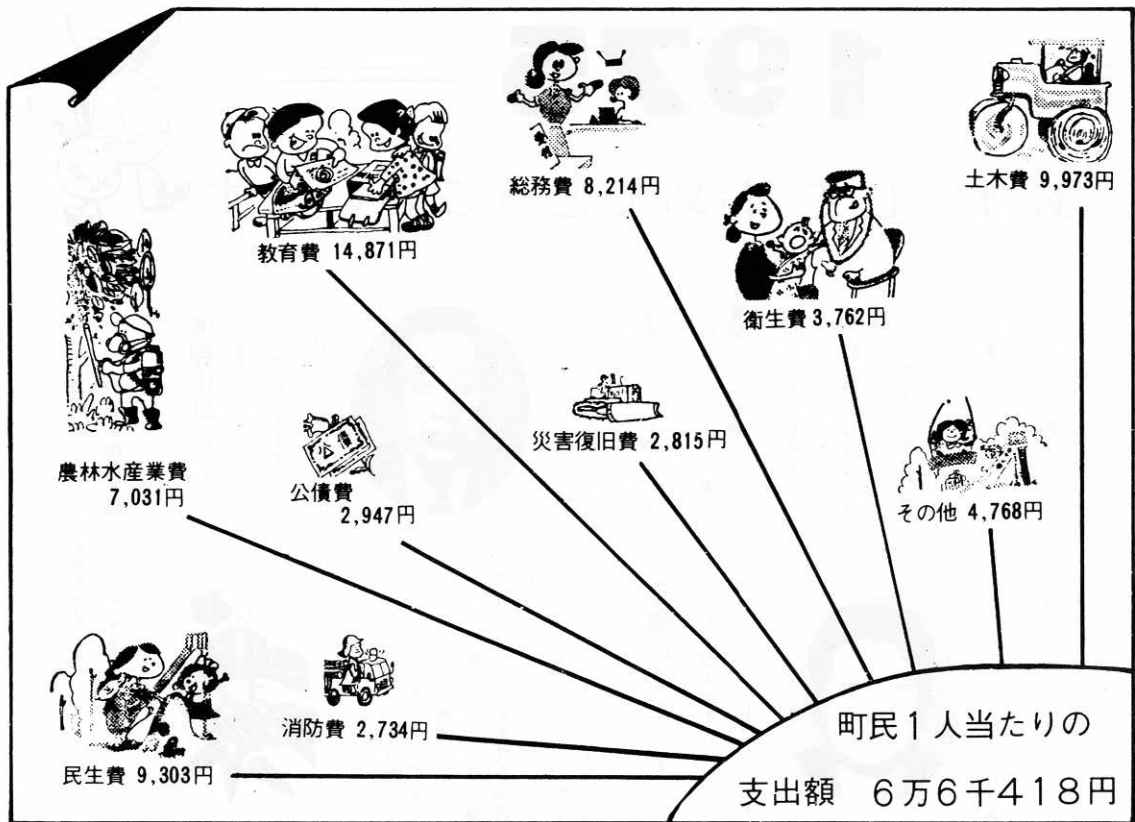
主な事業では、舗装新設に

六千六百六十七万六千円、道路新設改良工事二千五百四十一万五千円、橋梁新設工事一千八百九十一万円、都市下水道工事一千一百四十一万九千円、農業災害復旧工事五千八百六十四万七千円、西小学校第二期工事ほか小学校建設工事四千七百六十二万一千円、竜森小プール工事六百二十三万七千円、武道館建設工事一千三百九万三千円、職業研修センター建設費三千五百二十万三千円、町営住宅建設費四千七百七十五万七千円。このほか広域圏負担金として、国民会館建設工事に二千七百三十三万四千円、体育館建設工事に六千五百二十二万六千円、常備消防負担金五千六百六十八千円などが大きいのびています。

また、民生費の保育園児童措置費四千七百二十五万六千円、集落移転補助及び貸付金に二千円、町立保育園費に二千二百万円、衛生の清掃費

四千三百七十五万五千円、上水道出資金一千万円、商工費の機械貸与一千五百万円、中小企業融資貸付金一千万円、農林水産業費の農業振興費、畜産業費に対する負担金補助及び交付金なども額が大きくなっております。





町民一人当たりの町税負担額は、昨年、みなさんから納めていただいた町税は三億三千八百八十二万六千円を、昨年十月一日現在の人口二万五千二百五十六人で見ると、町民一人当たりの税負担額は一万三千四百八十八円となっております。

町税は、みなさんが直接納める町民税、固定資産税のほか、間接的に納めるたばこ消費税、電気ガス税などを含めて町税といえます。

町税三億三千八百八十二万六千円を、昨年十月一日現在の人口二万五千二百五十六人で見ると、町民一人当たりの税負担額は一万三千四百八十八円となっております。

これに対して一般会計歳出決算額を、町民にどれだけ支出しているかをみると、上の図で示すように町民一人当たりの支出額は六万六千四百八十八円となっております。

町民一人当たりの町税負担額の内訳は次のとおりです。

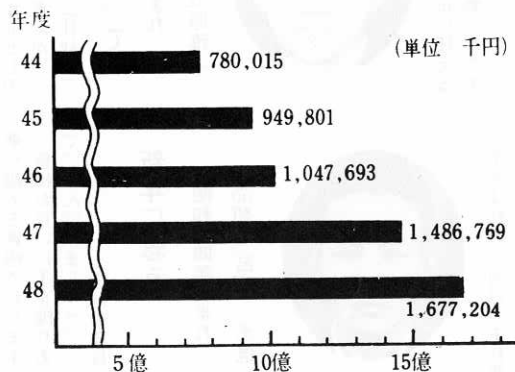
町民税	五、一〇八円
固定資産税	五、三六四円
軽自動車税	二八四円
たばこ消費税	一、五二八円
電気ガス税	七四四円
木材引取税	三八四円
その他の税	五円
合計	一三、四一八円

町民一人当たりの町税負担額は 一万三千四百八十八円

会計別決算総括表

会計区分	歳入総額	歳出総額	残 額
一般会計	1,787,984	1,677,204	110,780
国保会計	298,026	270,663	27,363
北秋田総合庁舎特別会計	43,457	43,457	0
宅地開発事業	70,000	57,841	12,159
綴子簡易水道会計	11,831	9,434	2,397
綴子財産区会計	50,548	13,098	37,450
坊沢財産区会計	43,361	29,994	13,367
七座財産区会計	172	84	88
栄財産区会計	17,451	8,740	8,711
沢口財産区会計	1,917	1,821	96
七日市財産区会計	50,220	19,987	30,233
と畜場	5,884	5,837	47
計	2,380,851	2,138,160	242,691

一般会計決算額の推移(歳出)



1975



あけまして おめでとうございます

新年にあたり、うさぎ年生まれの方に抱負を語っていただきました。

情報化時代に おいで

大正四年生まれ
坊沢 佐藤政五郎



「卯年生れのせいかわ、おとなしい子だ」と言われた私も二十才の成人式（その頃は徴兵検査のこと）を終えて集団生活をするようになってからは、自分の力以上に「徹底」を奮張るような癖がついてしまった。

五回目の卯年を迎えて、六十才の壮年になったからには人生の節を堅めねばならないと考えた。
卯年にちなんだ格言は少ないが、すばらしい聴覚の持主である「うさぎ」にあやかって「物事を正しく聴く」ことに努めた。
世はまさに情報化時代だといふが、良きにつけ悪きにつけ、人心を惑す情報が多すぎるこの頃、その中から「正



しいもの」をしっかりと見定めることが必要になってきた。このために、地域社会の人々が相い集まって、より一層語り合うことの必要性を痛感する。

こんなことを考えた年始である。（坊沢公民館長）

年頭にあたって

大正四年生まれ
上大沢 田村 栄



光陰矢の如しとか、私が兎年（うさぎ）のせいでしょうか。結婚してもう二十八年、今では地域の人々とも仲良くなり、長いこと婦人会のみなさんにお世話になりながら、こま

で歩いてまいりました。四十三年地域の方々に推され、東小学校の一隅をお借りして保育所を設立お世話してから早や七年、第一期の子ども達はいま小学校六年生で、春には中学校へ進むことになり、本当に感慨深いものがあります。

今年、町のご努力によりりっぱな新しい保育所もできあがります。今後子ども達と地域のしあわせのため、がんばりたいと思います。年のせいでしょうか、できれば健康でもうふた回りの兎年まで生きたいものと、急に命が惜しくなりました。

町民のみなさま共々、よい年であることを念じながら、新しい年に向って精一杯がんばるつもりでおります。（東保育園長）

昭和二年生まれの 人達よ奮起しよう

昭和二年生まれ
大町 九島 武雄



私達の年代は、戦前戦後にわたり日本の激動期に逢着し

た。成長期に敗戦前の教育を受けたので、先輩の考え、体質等よくわかるし、戦後はまだ固まっていなかった頭と体で生きてきたので、若い年代の人達の考え方等も理解出来る部分が多い。反面、両方に理解を示すことによって苦しむことにもなる。

同級生が集まる時、このイタバサミで苦労している人達が意外に多いのに驚く。「理解する」者は立派であるが、「理解しない」者の有つ強さがない。どちらかというと、ニエキラナイ態度になり勝ち。先輩、後輩（或いは親、子）または上司、部下、姑、嫁と置き換えてもよい）のどちらにも理解出来るなら、どちらに対しても強くなるように思うのだが。昭和二年卯どしの人達よ、いかがお考えか。（会社社長）

新年にあたって

昭和二年生まれ
前山 小笠原雅子



昨年（昭和49年）で、正に狂える寅のような物価変動の年でありました。不況の波にさらされた中小

企業の操短や、倒産会社も激増し、就職も思うようにならなくなりました。私たちが農村にあっては、出稼ぎの口も少なく、失業状態の人も多いなど生活に苦しんだ昨年でありました。

明けて本年は、どう変化するか全く予測がつかせませんが、公共料金や専売品の値上げは確定されており、昨年以上の生活の苦しさは目に見えています。

今年（卯年）は動物でも温順なものとされております。おとなしいだけでは、激動する世の中に取り残される危険性があると思っております。心機一転し、家庭経済的に支出面などお一層吟味し、秩序ある生活を計り、世の荒波を乗り越える覚悟でおります。皆様お互いに手を握りあって、がんばりましょう。（会社事務員）

新年に思う

昭和十四年生まれ
品類 宮腰 光雄



今年（昭和50年）は私の三回目の生れ年である。人々は人生の折返し

点だと笑う。そのせいか年令の重さを今年ほど重く感じた事はない。

願るとこの三回目の生れ年を迎えるまで、ずいぶんと様々な事があったと思う。終戦、独立、高度経済成長、公害、石油危機という事になるのだろうか。破竹の勢いで成長し続けた日本経済も、石油危機という後遺症のため大きな経済混乱を起している。

私はこの危機感が、食糧や材木に波及する事のないよう願ってやまない。

とにかく卯年生れの人は、知識は進んで求めるが、物事に飽きっぽい性格とされているが、うさぎとかめの駆けこにならぬよう、多くの仲間と共に地味な農業活動を通じて平和で豊かな農村社会づくりのため、一生懸命がんばりたいと思っています。

(団体職員)

年頭にあたって

昭和十四年生まれ

川口 中島登美江



家庭の主婦として、また農業をする者として人生三度目

の生まれ年を迎えました。目まぐるしく移り変わりゆく動きの中で、どのように対処すべきかが、私にとって最大の課題と考えています。異様な物価高に目をみはり、家のやりくりを配り、そのうえ家族みな健康であれと願いながら、家の外では農業に精を出しております。

いまここに新年を迎え、あらな情熱とプライドをもって、農業に専念したいという覚悟です。とかく世の動きにうとくなりがちな自分自身にとつて、現在の情勢における農業の重要さをあらためて知らされた思いは、不幸中の幸いと思っています。

「ウサギとカメ」の昔話のごとくのウサギでなく、ライバルのカメのろさのごとく、確かな一歩一歩を地につけ、健全な家庭、農業を考え前進するのみでがんばりたいと思っています。

(農業)

新年にあたって

昭和二十六年生まれ

掛泥 金沢 幸治



新春の光とともに、二回目

の卯年を迎え、過ぎたる日々が思い出されます。

今までは、自己中心的に考えがちであったため、今年は物事を冷静に深く追究するようにならなければならないと思います。

近年めまぐるしく社会情勢が移り変わっていく中で、農業や農村青年が著しく取り残されているような気がしますが、私は兼業農家の長男ですが、自分の経営耕地面積が少ないうえに、労働力の配分が不合理で、まだまだ考えなければならぬ点がたくさんあります。そのようなことを考慮して、今年の目標を作業面での合理化、単位当たりの取量を上げる、この点についてがんばってみたいと思います。

また一方で、青春期を謳歌したいと、青年活動やサークル活動に積極的に参加して、我が青春時代に、精神的に強い豊かな人生観を築き、それを大切に育てていきたいもの

(農業)

新春を迎えて

昭和二十六年生まれ

仲町 河田 和子



新しき年の始の初春の今日降る雪のいや重け吉事

(万葉集卷二十 大伴家持)

新年の宴会によまれた形式的な歌であるが、時代的、政治的背景をもった家持の心境をシンボリックに表現した歌で、音もなく降る雪が積り重なってゆく、その雪のように、ますますよい事、めでたい事が重なってほしいという意味の歌である。

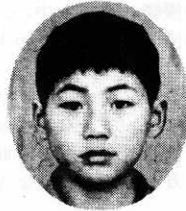
家持がこの歌をうみだした背景は別として、私は毎年お正月になるとこの歌を思い出す。そして、卯年に限らず、昨年を省みる時、今年はずっとよい事が重ってほしいと素直で謙虚な気持ちになる。私の抱負などは、およそ個人的で欲とでもしかしいやうのないものであるが、今、寂寛とした光景に立つ時、「いや重け吉事」と、暁の陽光に合掌したい気持ちにかられる。(無職)

うさぎ年を

むかえて

昭和三十八年生まれ

南小五年 畠山 誠



今年、ぼくが生まれてからはじめてむかえるうさぎ年です。

うさぎ年生まれの人を調べたならば、明治の小説家夏目漱石や、ドイツの医学者でノーベル賞を受賞したコッホ、またアメリカの物理学者であるアインシュタインなど、たくさんうさぎ年の人がいました。

ぼくは、こんな人たちのように、りっぱなことではできないかもしれないが、小学校最上級になるので、学習や運動に今までもより力を入れて、大事な一年を進みたいと思っています。

ときどきしっぱいもするけど、負けずぎらいで、ねばり強い気持ちをもっているから、みんなに負けないうように、友達といっしょけんめいどりをくし、がんばっていききたいと思っています。

どんなことでも

進んでやる子に

昭和三十八年生まれ

東小五年 村上 紅



今年、私の年でもあり、また、最上級生になれるうれしい年でもあります。

最上級生になると、下級生の世話をしたり、全校の先に立つて児童会の仕事をしたりしなければなりません。また、勉強もいっそう難しくなり、ほんとうに忙しい年になることと思っています。

その時になってあわてないよう、今から六年生の仕事や児童会で活躍をよく観察しておくことが必要だと思います。運よく昨年児童会の仕事にたずさわっていたので、今の六年生に負けないくらい児童会で活躍してよい学校にしたいと思っています。みんな協力し合い、一人一人が努力することと、きつとよい学校にすることができそうです。

私の年に恥じないように、どんなことでも進んでやれる子どもになりたいと思います。9



楽しい冬休み

規則正しい生活を

町内小中学校生活指導協議会では、児童生徒の冬休みの生活について全町を統一した生活指導を行なうため、次のようなことからを決めました。

夏休みの反省にたつて、より有意義な冬休みを過ごせるよう、指導をお願いします。

一、学習について

▽学習時間は九時までとし、それ以前はお互いに友だちをさそいあわぬようにすること。

▽長期の休みでなければできないこと、たとえば、かきぞめ(習字)、手芸、工作などの作品づくりに努めよう。

二、遊びについて

▽夜遊びはせず、午後四時までは家に入ること。

▽危険な遊び(火遊び、路上スケートや雪の落ちてくる軒下での遊びなど)はやめよう。

三、健康について

▽早寝、早起きで規則正しい生活を、なわとびやスキー



▲戸外で体をきたえよう

家庭の日運動十周年を迎え、県では「家庭の日」運動をテーマにした作文を募集しています。

題名は、第一、二部の小学生「私の家庭」、第三部の中学生「わが家の「家庭の日」、第四部の一般「地域社会と「家庭の日」運動、またはこれからの「家庭の日」運動。」

作品(一人一点)は四百語原稿用紙三枚以内にとり、住所、氏名(ふりがな)、性別、学校名、学年を記入の上、秋田県民生部青少年課「家庭の日」運動作品募集係あて、一月三十一日までお送りください。

「家庭の日」

作文募集

一などで体をきたえること。▽かぜを予防するため、外から帰ったらうがいやしょう。

四、スキーについて

▽行き先、友だちの名前、帰りの時間を家の人に話してから出かけること。

▽出かける時は、一人でなく五〜六人のグループで行くこと。

五、奉仕活動について

▽家の手伝いをすすんですること。

▽グループで地域への奉仕(火の用心、道つけ、会館のそうじなど)をしよう。

さい。くわしいことは、役場福祉課福祉係にお問い合わせください。



疲れない テレビの見方

ふつうの視力を持つ人がテレビを見つづける場合、見る条件が整ってさえいれば、二時間までならそう疲れるものではない。

しかし、二時間をこえると、しだいに目の機能が衰えて、疲れを感じるようになります。条件が悪いと、疲れがより早くやってくることはいうまでもありません。

へやの明るさも目の疲労に関係します。新聞の字が読めるほどの明るさが適当です。目が疲れたと感じたときは、テレビを消して目をつぶるか、ぼんやり遠くを眺めるかして目を休めましょう。三十分から一時間すれば、回復します。

テレビの見やすい位置は、画面の高さの六倍から八倍離れたところで、正面から左右十度以内の範囲がよいとされています。十六型〜十九型ですと一・六倍、二・五倍離れて見るのが最適です。

画面の中心は、目の高さよりやや低めになるようにし、くつろいだ気持ちで、といっても寝ころんでほだめです。姿勢のよさは目をいためない大原則。

バレーの名門校

古河中と親善試合

＝ 1月4日 体育館で＝

バレーの名門校、茨城県古河市立第一中学校の男女チームが来町、1月4日午前9時30分から鷹巣体育館で、鷹中男女バレー部と親善試合を行ないます。

古河中バレー部は、49年度全国大会で女子は優勝、男子は準優勝した三木中に、3回戦でフルセットの未惜敗したバレーの名門校です。

なお、当日は男子は弘前五中、女子は土崎中も参加することになっており、中学校バレーボールの神髓が披露されるものと期待されますので、多くの方が参観されるようご案内いたします。

新年あけましておめでとーございます



賀正

除夜の鐘が鳴りだせば、もう新年です。一九七五年の幕あけを知らせる百八つの鐘の音に、煩惱解脱、罪業消滅の祈りをこめて……一夜明ければきのうは去年であり、きょうは今年です。たちまちのうちに、年去り、年来たる、時の経つのはつきりと感じます。

ことわざに「二年の計は元旦にあり」とありました。一日は国民の祝日のトップで、制定の由来は「国民自身」が新しい希望と決意をもつて新しい年の初めを祝う日」とあります。お説教じみですが、新年は、人心を一心する契機となつてこそ意義があるわけですから、ただお正月を祝うというだけでなく、将来を考え新しい年の生活計画をたてて、希望の出発点としたいものです。

交通確保に万全の体制

道路には物を置かないで

気象情報によれば、この冬は一時大雪の降るおそれがあると予報しております。

このため町では、雪による孤立化を除去するため除雪対策に万全の体制をとり、このほど各路線に民間の除雪車を借り上げることとし、その担当区域も決めました。

なお、除雪にあたっては作業能率をあげるため、町民のみなさんに次のことについてご協力をお願いします。

- ▽屋根から降した雪のかたづけは、各家庭で責任もって除雪してください。その際

道路に雪を出さず、道路の端に積みあげてください。

▽道路上の除雪により、玄関前などに雪が入って大変ご迷惑をおかけすることもありますが、道路交通確保のため、その雪を路上に押しだすことのないよう

▽雪を川などに捨てる場合は、雪以外のものは絶対に捨てないでください。

- ▽道路に物や、車を置かれま



▲住民の足の確保に努める除雪車

雪能率が低下しますので、路上に物を置かないでください。

除雪担当区域と、借り上げ業者は次のとおりです。

- ▽役場除雪車 旧町内全域、脇神、糠沢、綴子、前山、今泉
- ▽藤原建設 七日市、松沢、吉野
- ▽畠山建設 高森岱、藤株、上野、堂ヶ岱
- ▽千葉建設 伊勢町、北星地
- ▽中央建設 深閑、佐戸岱、田中、中岱、舟見町
- ▽丸栄建設 糠沢駅前、下糠沢踏切、岩谷
- ▽米代川商事 あけぼの町、太田、高野尻、下糠沢踏切
- ▽畠山千吉 摩当、李岱、摩当、向黒沢
- ▽沢木和雄 綴子、松原
- ▽前山砂利 前山、今泉
- ▽小猿部建設 七日市本郷、横溝、中屋敷、小森、南小
- ▽光建設 坊沢、前山線、坊沢、鷹中
- ▽後藤建設 南鷹巣、食肉センター、上水道浄水場、し尿処理センター、舟場

価格の高騰を防ぐ 生活必需品資緊 急対策を実施!!

例年、年末から年始にかけて生活必需品の需要がふえ、値上りの傾向となりますが、特に昨年は、物不足を背景に価格が高騰、消費生活に大きな影響を与えております。

そこで、昨年の二の舞をふまないためにも、生活必需品の供給を確保するとともに、価格の高騰を防止するため「生活必需品資緊急対策」を実施することになりました。

- ①物資の確保と価格抑制
- ②物資の輸送と保管の確保
- ③価格監視の強化
- ④生活の簡素化と虚礼廃止の四点を目標とし、卸売市場、小売業者、スーパー等に協力を要請しております。

重点品目として、小麦粉、砂糖、食用油、みそ、しょうゆ、即席めん、食パン、干しうどん、プレスハム、ソーゼージ、家庭用バター、マーガリン、グルタミン酸ソーダー、キャベツ、白菜、大根、ジャガイモ、玉ねぎ、みかん、マグロ、新巻サケ、カマボコ類、食肉、鶏卵の二十四点を定めており、週に一回特別調査を実施いたします。

書きぞめ大会のご案内

恒例の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加くださるようご案内いたします。

日時 一月五日午後一時

会場 鷹巣公民館ホール

課題 自由(大きさも)

出品 一人一点

審査 幼児 小学校 中 学校 高校 一般の五部門

入選発表 当日会場で表彰

用具 用具 紙 手本など一切各自持参してください。

作品展示 入選作の一部を公民館に六日から十六日まで展示します。

※その他不明な点は、鷹巣町公民館におたずねください。

(電話二局一一三〇番)



読書感想文コンクール

第十回鷹巣町読書感想文コンクールを次により行ないますので、多数の応募をお待ちします。

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

課題図書 特に定めませんが、教科書、雑誌(ふろく)は対象としない。

字数 小学校の部は四百字 中学校の部は四百字

その他は五枚以内。

応募締切 五十年一月末日

入選発表 五十年二月下旬

表彰 最優秀賞、優秀賞、努力賞(各部門)

応募先 鷹巣町公民館

※その他応募について不明な点は、鷹巣町公民館におたずねください。

(電話二局一一三〇番)

お知らせ コーナー



この欄はあなたへの
通知です。
かならず目をとおして
ください。

赤ちゃんの検診 と健康相談

一月の乳児健康相談は、十六日と二十日です。受付時間は午後一時から午後二時まで、相談場所は鷹巣保健所となっています。

▼十六日は、四十九年六月生まれと九月生まれ。

▼三十日は、四十八年十一月生まれと四十九年二月生まれ。

妊婦健康相談

一月の健康相談は、二十日です。

時間は午前九時半から午後三時まで、相談場所は團民会館保健相談室です。希望により血圧測定や検尿、衛生教育も行なっています。

なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

農業センサス

二月一日には、全国いっせ

いに農業センサスが行なわれます。

この調査の結果は、村づくりの基礎となることはもちろん、県や国のいろいろな施策特に農業を発展させるための施策を進めるうえで、最も基礎的な資料となるものです。農家のみなさま、調査へのご協力をお願いいたします。

農外就業 訓練生募集

農業以外の産業へ就業を希望する農業従事者を対象に、鷹巣専修職業訓練校では、建設機械運転科の職業訓練生を募集しています。

募集人員は二十名、訓練期間は一月十八日から三月二十八日までです。

受付は随時行なっておりませんが、寄宿舎をご利用の方は収容能力の関係もありますので、早めにお申し込みください。

くわしくは、役場内農業委員会まで。電話二一一一一内線二五五。

善意

このほど鷹巣農学校農科三年一組の方々から、学校祭バザー収益金の一部六、九四三円を社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

中国に残留する 孤児たちの調査

県民生部では、中国に残留する孤児の調査を進めています。

これは、今次大戦における終戦の混乱によって中国各地で両親と生き別れ、また死別したと思われる孤児(当時十三歳前後の日本人)から、日本の肉親を探してほしいという手紙が在北京大使館をはじめ、都道府県および援護局に多数寄せられており、この手紙を元に身元判明をはかるうとするものです。

しかし、孤児となった者には両親の氏名や本籍地、家族の構成などはっきりわからな

い者もあり、身元調査は困難をきたしています。みなさんのなかで、中国からの引揚前の現地で記憶、または既引揚者等の会合、話し合いのなかで聞いたことなど、心当たりがございましたら役場福祉課福祉係までご連絡ください。

電話のじょうずな利用について

年の始めは、電話の利用度が高くなり、電話局でもいろいろの対策をたて、つとめてご不便のないように心がけておりますが、次のことに注意し、電話をじょうずに利用いただけるよう、ご協力ください。

- 一、鷹巣、合川、米内沢、前田局のダイヤル電話の方は全国ほとんどの地域に直接ダイヤルでおかけできますから、すこく便利です。
- 二、相手の番号は、よく確かめてからダイヤルしてください。
- 三、お話し中のときは、二三分ぐらいいお待ちください。
- 四、自動局になっていない局からのご利用の際は、局名と番号をハッキリお申し込みください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

- ▼大向 嶺協武雄さんから父仁助さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
- ▼掛川 永井明さんから父信藏さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
- ▼坊沢羽立 永井孫右エ門さんから亡母サンさんの香典返し 三〇、〇〇〇円
- ▼藤株 畠山勤助さんから父勤五郎さんの香典返し 二〇、〇〇〇円(うち一〇、〇〇〇円は陽清学園へ指定寄付)

慶弔だより

12月1日〜12月15日
誕生おめでとうございます
照内真美子(喜久雄二女)
太田

佐藤真知子(俊夫長女) 福住町	佐藤和一郎(70) 糠沢
佐藤早苗(利隆長女) 本郷	長岐 利市(72) 高森倍
伊藤 大(武長男) 栄町	小林健五郎(78) 南鷹巣
沢田義春(直義二男) 小田	佐藤 ハル(84) 掛泥
加賀谷紀昭(文昭長男) 南鷹巣	三沢 ミヨ(55) 花園町
吉田千春(敬長女) 東仲通	高坂 セツ(53) 掛泥
加藤理子(莞二女) 掛泥	佐藤 フミ(78) 元新町
	今 確介(74) 米代町

二人の前途を祝福いたします

おくりやみ申しあげます